

事業所における自己評価結果(公)

実施月:令和5年2~3月

公表:令和5年5月26日

事業所名:児童発達支援センターマイ、職員数:19 回答数:15 割合:79%

	チェック項目	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員数が多く、子どもにとっての刺激が多くなる。空間の使い方は課題と感じている。</li> <li>・狭く危険と感じることもある。動きのある活動の時は部屋以外の場所に可能な範囲で移動している。</li> <li>・マットの配置などを工夫しているが、狭いと感じることもある。</li> <li>・適切ではない場面もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当センターでは1人あたり約3~6㎡と基準を満たしていません。クラスによっては、狭さを感じる時もあり、体を動かす活動には、廊下やホール、遊戯室などで実施するなどの配慮をしています。加えて令和5年度から、プレイルームや支援の部屋を増やすための配置換えを行い、改善を図っていきます。</li> </ul>
	② 職員の配置数は適切であるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員数が多く、子どもにとっての刺激が多くなる。空間の使い方は課題と感じている。</li> <li>・若い職員が増えたが、産休育休に入る職員が増えてきた際のフォロー体制などきちんとあるのか、現場をしつかり回せるか不安です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども一人一人の能力や可能性を伸ばすための支援計画を基本に、必要な職員数や動き、物の置き方など支援を行う環境について良く精査し、意図的、かつ具体的な支援を行っています。</li> <li>・配置基準は満たしている上、加配人員での配置をしています。</li> </ul>
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもに配慮している様な構造が、逆効果を生んでいる面もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構造上、早急に行えない箇所もありますが、子どもの安心・安全と成長を支援する構造について、検討してできる限り改善を図っていきます。</li> </ul>
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やや狭い。隙間が多く、冬は窓際にいられないほど寒い。</li> <li>・木でできているため、冬は隙間が多く寒かった。</li> <li>・園庭がないので裏の公園や少し遠くの公園で遊んでいる。</li> <li>・子どもに配慮している構造が、逆効果を生んでいる面もある。</li> <li>・空調(床)の掃除が大変。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・床下空調による蓄熱式の冷暖房、埋め込み式の加湿器を設置していますが、建物の基本的な構造は変更できないため、多様なニーズのある子どもへ対応ができるよう、常に配慮工夫をしていきます。</li> <li>・コストを考慮しながら、できる限り外部に発注して行きます。</li> </ul>
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わからない</li> <li>・まず目標がはっきりわかりにくい。</li> <li>・振り返りは丁寧だと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までは個別支援計画に基づいて、業務を見直してきましたが、今後はセンター全体としての役割や職員の業務負担、職員のモチベーション向上等、業務全体を検討し、組織として業務改善を行っていきます。そのため経営指針に基づいて、支援に関する業務や運営に関する業務の視点で業務改善の指針を策定して行きます。</li> </ul>
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の意向を引き出しながら支援ができていないか、見えてこない部分も多く感じる。</li> <li>・評価表は実施しているが、業務改善にどうつなげているかはわからない。</li> <li>・評価の実施と意向の把握で止まっているように感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々のモニタリング等で保護者のニーズを聞き取り、支援の改善を実施してきました。また、今年度は、就学に向けた説明会や交流会も実施しました。今後は、保護者会など直接、保護者の意見を聞ける場を設ける等、保護者の意向を把握し改善を図っていきます。</li> </ul>
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者とのつながりが少ないと感じる。保護者会など直接関わられる場面で意見を聞き、改善につなげたい。</li> </ul>	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価は実施しているが、業務改善にどうつなげているかはわからない。</li> <li>・評価結果のフィードバックがないのでわからない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者による外部評価を実施し、業務改善につなげています。今後は業務改善された項目について評価結果を明確に示し、組織的な業務改善に反映させていきます。</li> </ul>
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者支援の部分の研修をしてほしい。</li> <li>・色々な研修を受講させてもらえて有難い。今後もっとオンライン以外(対面)のものも受けていきたい。</li> <li>・足りないところもある。</li> <li>・研修はあるようですが、資質向上につながっているかは疑問である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度、試行的に職員を他事業所にお願いして支援に関する研修会や、多職種連携に関する対面の研修受講を実施してきました。今後、保護者支援を含めた多様な支援の研修を奨励して行きます。</li> <li>・研修の受講後、職員の資質向上や組織の資質向上に繋がっているか、職員の評価と同時に、組織全体の評価と改善を示して行きます。</li> </ul>
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者のニーズをひろいきれていないように感じる。</li> <li>・アセスメントの窓口がもっと広がるとよい。管理者だけでなく、様々な職種の視点も必要だと思う。</li> <li>・何人も同じ支援計画を目にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度、試行的に子ども一人一人の客観的なアセスメントから子どもの中心的な課題や、保護者のニーズを引き出す、個別支援計画の作成手順を作成し、実践と照らし合わせて評価を行って行きます。</li> </ul>
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わからない。</li> </ul>	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的であるとは言い難い。誰にでも言えるようなざっくりとしたものであると感じる。個別支援計画で少しでも具体化できるように努めている。</li> <li>・最低限必要な支援内容は、達成されていると思う。</li> <li>・比較적、おおまかな内容になっているように感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援ガイドライン等を参考にしながら、本センターにおける評価項目を作成し、個別支援計画を作成し、実践の振り返りしながら、改善を図って行きます。</li> </ul>

	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	・年末くらいから意識して始めたと思う。	・長時間のサービス提供のため、話し合いの場が少なく、支援の計画や変更の共有がされにくいことは、今年度も課題でした。時間の確保と、情報の共有について今後、具体的な改善策を検討していきます。各クラスと連携して、計画的に人員をシェアしてセンター全体で連携できる体制を整えていきます。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	・保育が担当する形となっており、話す時間が足りていない。	・一日支援のクラスは、集団活動を中心に、個別の支援を試行的に実施してきました。来年度も、短時間ではありますが、各クラスで具体的に実施できるようアセスメントや支援等の情報共有を行い、見直しして行きます。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	・多くの経験ができるように配慮しているが、十分でないように感じる。	・支援に関する情報等、職員の必要な共有の時間を定期的に確保して行きます。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	わからない	
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	・時間の確保がほしい。 ・打ち合わせをする時間がとれない(送迎など)。口頭で周知したり、ボードやノートに書くなどの方法をとっている。	
	⑱ 支援終了後は、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	・打ち合わせをする時間がとれない(送迎など)。口頭で周知したり、ボードやノートに書くなどの方法をとっている。 ・月二回程度、超勤して会議を行うことで、どうにか補っている。 ・なかなか時間が取れない。	
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	・シフト制で退勤時間がバラバラのため、連絡ノートを使用している。	・支援に関する情報共有の時間を計画的に実施します。
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか		・今年度、年2回のモニタリングを実施して、職員間で情報を共有しながら個別支援計画に沿って、子ども一人一人の支援の改善を図っていきます。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	・あまりできていない。風通しがよくない? ・わからない。	・市の母子保健や子育て支援等の関係機関とは、管理者中心に情報交換や連携をとってきました。各クラスと情報を共有しながら、ご家族を含めて支援できるように連携をとっていきます。
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	・あまりできていない。風通しがよくない? ・できている部分もそうでない部分もある。特に同事業所内の相談支援とは連携がとれているのか不信に感じることがある。 ・わからない。	・医療的ケアが必要な子どもについては、関係機関との調整、見学の受け入れをしてきました。また、今年度は保育所等訪問支援も実施し、相談支援と連携をしながら、地域の保育園、幼稚園、学校等関係機関との連携構築が図られるようになってきました。今後は、更に、相談支援と連携を図り、保育所等訪問支援の拡充を図りながら、連携体制を進めて行きます。
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	・あまりできていない。風通しがよくない? ・できている部分もそうでない部分もある。特に同事業所内の相談支援とは連携がとれているのか不信に感じることがある。 ・わからない。	・相談支援事業所のモニタリングを通して、連携をしていますが、今後は、相談支援の担当者会議等に、積極的な参加をして、連携を図っていきます。
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	・あまりできていない。風通しがよくない?	
	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	・見学に行ったり来たりはある。 ・全員ではないが数人はできている。	・今年度は、地域の先輩保護者による就学に関する情報共有の会を実施したり、地域の特別支援学校から特別支援コーディネータを招き、就学に関する研修会を実施するなど、積極的に情報発信と共有を進めてきました。また、就学に関する情報共有として、特別支援学校の見学も積極的に実施しました。今後、就学など移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っていきます。
	㉖ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	・見学に行ったり来たりはある。	
	㉗ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		・今年度、東村山市と連携して、児童発達支援事業所や専門機関と連携した情報共有や支援に関する研修を実施しました。今後は、児童発達支援に関する情報の発信を、センターとして発信し、地域の児童発達支援事業所と連携構築を図って行きます。
	㉘ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	・まだまだ少ない。他のクラスとの合同活動を増やしていきたいと考えている。	・同一建物内のエメット保育園(0から2歳児)との交流は、感染予防対策をとりながら交流を定期的に実施することができました。地域の保育園との交流は、感染症の流行が落ち着きましたら、検討していきます。
	㉙ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	・わからない。 ・コロナがあったので仕方ないと思うので、今後は連携に期待したい。	・東村山市児童発達支援センター連絡会は2回開催され、今年度は市と協力して企画運営を行いました。自立支援協議会相談部会は、センターの利用状況等を報告しました。今後、センターとして更なる情報発信と地域のとの共有を行います。
	㉚ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	・課題だと思う。ノウハウから勉強していきたい。 ・たまに行き違いはある。 ・どちらとも言えない。 ・発達の状況や課題、ニーズなどを共有できていないことも多くなる。細かい情報収集や目標を一緒に決めていきたい。	・今年度、就学に関する研修会を、対面、オンライン、動画配信というハイブリッド方式で実施し、保護者と職員が情報を共有しました。今後は、子どもの発達の状況や課題、子どもの進路等、一つ一つ丁寧に進めながら共通理解できる企画を実施する予定です。

	③①	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	医療的な部分の伝達がすべてになってしまう印象。	・地域の保護者の協力を得て、ペアレントメンターとして保護者支援の企画を数回実施しました。今後、定期的に保護者支援を実施して行きます。
保護者への説明責任等	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	・わからない。	・契約時に利用者負担など説明しています。今後、説明に関するチェックリスト等を作成して、落ち度のない説明義務を果たして行きます。
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか		・今後、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示し、保護者に説明と同意を得ています。
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	・わからない。 ・どちらとも言えない。	・保護者からの子育ての悩み等の相談や必要な助言を、適時、実施していますが、今後、地域の関係機関や卒園児の保護者に協力を得ながら、定期的な保護者相談会を試行的に実施します。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	・積極的にやっていきたいがコロナのこともありできていない現状あり。 ・コロナのため実施していなかったが、来年度は保護者会を開催する予定。 ・保護者会を開催していきたい。	・今年度、重心外クラスでは新型コロナウイルス感染対応をしながら、対面での保護者会を実施しました。来年度は、可能な限り、対面による保護者会を実施し、保護者同士の連携を支援して行きます。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	・保護者側は足りていないと感じていると思う。	・各クラス、利用開始時やモニタリング等で定期的に面談を行い、随時、個々の保護者からの相談や申入れがあった場合に迅速に対応してきました。また、緊急な事案については、対面による保護者会を実施しました。今後、定期的な保護者会を実施し、子どもや保護者の相談等に対応して行きます。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		・今年度、定期的な通信に加えて、オンラインでの活動概要を配信しました。今後、個人情報保護の対応を十分にしながら、SNSなどを活用した情報発信を実施します。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか		・個人情報の取扱いについて、確認をしながら十分注意しています。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	・全体での避難訓練の機会を増やした方がよいのではないか？ ・避難訓練をもっとしっかりできるとよい。	・今年度、各クラスで避難訓練を実施しましたが、来年度、大規模災害に備えた防災訓練を全体で実施します。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		・感染予防対策のため、実施していません。センターでは「夏祭り」を地域住民を招待する機会として準備してきました。感染症の流行が落ち着きましたら、地域の方と交流できる場を増やして行きます。
	非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	
④②		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	・全体での避難訓練の機会を増やした方がよいのではないか？ ・避難訓練をもっとしっかりできるとよい。 ・よりリアリティをもって想定しながらやりたい。	
④③		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか		・契約時に服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況は必ず確認しています。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		・医師の指示書の有無を確認して、食物アレルギーなどに対応して行きます。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	・各事業所内での対策となっているため、児発管会議で共有していきたい。	・ヒヤリハットについて各クラスで共有している。今後は、書式も含めて検討し、経営会議や全体職員会など事例集を作成して事業所内で共有して行きます。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	・各事業所内での対策となっているため、児発管会議で共有していきたい。 ・虐待までは行かなくても、不適切な保育に対する対応の不足を感じている。	・今年度、マルチリトメントを含めた虐待を防止するための職員の研修機会を動画にて実施しましたが、今後は、身体拘束等の適正化と虐待防止に関する研修を実施して適切な対応を実施して行きます。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		・姿勢保持が必要な子どもには、転倒防止のため、ベルトによる姿勢保持を行いますので、保護者に事前説明を行い、個別支援計画等に記載しています。